

令和七年度（二〇二五年度）小論文試験問題

次の文章を参考に「じぶん」（解答者や特定の人物を指しているわけではない）について論じなさい。

著作権の都合上、省略

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 八〇〇字

※時間 八〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和七年度 (2025年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 () 番 () 氏名 () です。

出身は () 都道府県名 () で、学校は () 学校名 () 高校を卒業する予定です。

年齢は、 () () 歳です。

発声 二 【次の文章を朗読してください。尚、 () 内は朗読しなくて結構です。】

著作権の都合上、省略。

動作

【次の内容をしぐさのみで表現してください。】

〔設定〕 友人たちと学校からの帰り道。

お腹が空いたのでコンビニに立ち寄った。

友人たちの分もまとめて買って、コンビニから出てきた。

ところが、コンビニの前で待っていたはずの友人たちがいない。

どこに行ったのか探すと、車道を渡ったそばの空き地に居た。

買ったものを持って車道を渡ろうとする。

車がクラクションを鳴らしながら、前を横切る。

その反動で荷物を落としそうになる。

何とか耐え、友人たちのもとへ行こうと前を見ると、皆が笑ってこちらを見ていた。

車道を渡り、友人たちの元へ駆け寄る。

(そのまま退出してください)

2025 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期）専門試験併用型入試

令和 7 年 2 月 3 日

実技試験問題

〔内容〕 5 時間 3 0 分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く



〔モチーフ〕

- コスチューム：パーカー、ワイドパンツ、スニーカー
- 布を敷いたモデル台（白） × 1
- 椅子 × 1

以上

2025 年度 美術学科

絵画コース（版画専攻） 一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期）専門併用型入試

令和 7 年 2 月 3 日

実技試験問題

〔 内容 〕 5 時間 30 分 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く



〔モチーフ〕

●ポトス × 1

●レモン × 1

●水差し × 1

●布

2025 年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 一般選抜N全学統一方式（第1期）令和7年2月3日 実技試験問題

〔内容〕 6 時間分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



〔モチーフ〕

●鉄製台座 × 1

●フィロデンドロン × 1

以上

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域活性化 文化の継承 インクルーシブデザイン 多様性 文化的背景
アートツーリズム 資金調達 持続可能性 地域交流 商業化 ボランティア

観光資源 フォトスポット 土地利用

2025 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期）専門試験併用型入試

令和 7 年 2 月 1 0 日

実技試験問題

〔 内容 〕 5 時間 3 0 分 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く



〔モチーフ〕

- コスチューム：ニット、リブニットスカート、スニーカー
- 布を敷いたモデル台（白） × 1
- 椅子 × 1

以上

2025 年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 一般選抜N全学統一方式（第2期） 令和7年2月10日 実技試験問題

〔内容〕 6 時間分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



〔モチーフ〕

●鉄製台座 × 1

●モンステラ × 1

以上

2025 年度一般選抜 N 全学統一方式（第 1 期） 専門試験併用型
作曲専攻 作曲(80 分)

次の旋律を冒頭におき、オーガエ独奏(ピアノ伴奏無し)のための小品を作りなさい。



- ・与えられた旋律の()内の音符の長さは自由です。
- ・テンポ、強弱、アーティキュレーション、フレージング、必要な音楽用語なども適宜書き加えること。

その他の注意事項：

- ・小品は、提出用の五線紙に書くこと。
- ・提出用五線紙の表紙に氏名と受験番号を書くこと。
- ・下書き用五線紙は使わなくても構いません。
- ・この用紙と五線紙はすべて回収します。

2025 年度一般選抜 N 全学統一方式 （第 1 期） 専門試験併用型
理論専攻 小論文(80 分)

次の三つのテーマの中から一つを選び、1000 字程度の小論文を書きなさい。
選択したテーマは、答案用紙の題名の欄に記入すること。

1. 私と音楽
2. 研究したい音楽とその理由
3. 音楽学を選んだ理由

2025年度 一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型

音楽教育コース 小論文（60分）

次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。

選択したテーマは解答用紙の題目の欄に記入すること。

- 1. 現在の中学・高校で必要とされる音楽教育について**
- 2. 地域社会と学校の関わりの中で音楽教育が果たすことができる役割について**
- 3. 生涯学習としての音楽の役割について**

■令和7年度 一般選抜Ⅱ全学統一方式（第1期） 専門試験併用型
演劇学科舞台構想コース 作文課題

「初心者」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。ただし、
以下、三つの言葉を必ず文中に使用すること。（600字/60分）

1. 俳優
2. 観客
3. ドラマ

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号 _____

氏名 _____

令和7年度演劇学科一般選抜Ⅱ全学統一方式専門試験併用型
演劇学科演技コース【演技】課題

次のシーンを演じてください。

著作権の都合上、省略。

※注1 「大学生」「乱腐」「珍腐」「淫腐」の全てを順番に演じます。

※注2 テキストは持ったままで構いません。

※注3 相手役と事前に打ち合わせをすることはできません。

※注4 自由に動いて構いませんが、部屋にあるものには触れないでください。

番号..

氏名..

別紙の戯曲を上演するとして、あなたの考える舞台空間を提案しなさい

(以下、余白)

番号..

氏名..

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

令和7年度演劇学科一般選抜N全学統一方式専門試験併用型

舞台美術コース 実技試験 プレゼンテーションシート

番号..

氏名..

2025 年度 日本大学芸術学部演劇学科
一般選抜 N 全学統一方式専門試験併用型専門試験

日時：2025 年 2 月 4 日（火）午前 10 時 00 分開始
会場：北棟地下 1 階 第 4 実習室

日舞専攻専門（実技）試験問題

課題（実技）

「日本舞踊曲又は日本の伝統舞踊（郷土芸能を含む）を一曲自己選択し、実演してください。」

《備考》

- ※音源は持参したものを使用する。（実施要項にて指示済み）
- ※曲の頭出し、また実演時間は、選択曲によって内容が異なるため受験生毎指示を行う。
- ※基本的に着物着用で行う。
- ※実演の際は配布した受験順の名札を着用する。

以上

2025 年 2 月 4 日(火)

令和 7 年 入学試験課題
演劇学科 洋舞専攻実技試験課題

対 象：一般選抜 N 全学統一方式(第 1 期)専門試験併用型

実施日：2025 年 2 月 4 日(火)

場 所：江古田校舎

内 容：1. 身体の動きによるダンスの適正などをみる。 (約 15 分)
(受験生による自由なウォーミングアップ)

2. 舞踊技術、バランス、リズム感、身体的表現力をみる。 (30 分)
(振付によるムーブメント)

3. 課題にたいしての発想力、表現力、空間の捉え方をみる。 (35 分)
(インプロヴィゼーション) 1 人 2 分以内

課題：【変幻自在】

- ・課題から着想したテーマを考え、自由な発想のもと動きをデザインする。(10 分間)
- ・デザインした課題による身体表現。(1 人 2 分以内)
- ・発想の説明 (1 人 1 分以内)

以上

令和七年度 一般選抜 放送学科専門試験 作文試験問題

作文題名

「おはよう」

六〇〇 字

六〇 分

試験実施日 令和七年二月三日（月）

令和7年度 デザイン学科 一般選抜 専門試験併用型A日程 入学試験問題

デッサン(4時間)

用 紙: B3画用紙

画 材: 鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ、「ポップコーンカップ」、「ポテトマッシャー」、「カラーリボン(赤)」、「上質PPC用紙(B4版・白)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフは「ポップコーンカップ」、「ポテトマッシャー」、「カラーリボン(赤)」、「上質PPC用紙(B4版・白)」とする。
2. 配布された「カラーリボン(赤)」は、配布時の状態からセロファンテープをはがし、リボンの先端を約1m程度引き出したうえで任意に配置して使用すること。
3. 「上質PPC用紙(B4版・白)」は、任意の角度で直線的に一度だけ折り目をつけ、折り目がわかるように開いた状態で他のモチーフの下に敷いてセットすること。
5. モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
6. 配布された白の台紙は描かなくてもよい。
7. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。
8. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
9. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



デザインプレゼンテーション（4時間）

用紙：「B3ケント紙1枚+PMパッド1枚」

画材：鉛筆および色鉛筆

〔課題〕

**私たちをとりまく環境^[1]と衣類^[2]にかかわる問題を見つけ出し、
あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。**

〔注釈〕

[1] 人間または生物をとりまき、それと相互作用を及ぼし合うものとして見た外界。

自然的環境と社会的環境とがある（広辞苑より）。

[2] 身に着る物の総称（広辞苑より）。

環境と衣類との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。

例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。

〔条件〕

1. 答案用紙は2枚あり、PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由（筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。）
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に回答が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上

令和7年度 デザイン学科 一般選抜 専門試験併用型 B日程 入学試験問題

デッサン (4 時間)

用 紙：B3 画用紙

画 材：鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ「チップスター」、「ステンレスつくだに盛り」、「フリーボックス (ホホワイト)」、「A がプリントされた上質紙 (B4 版)」を以下の条件のもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフは「チップスター」、「ステンレスつくだに盛り」、「フリーボックス (ホホワイト)」、「A がプリントされた上質紙 (B4 版)」とする。
2. 配布された「チップスター」は、蓋を外さずに配布時の状態のまま任意に配置して使用すること。
またパッケージのロゴなどの印刷部分はできるだけ正確に描写すること。
3. フリーボックス (ホホワイト) の上蓋は任意の角度に折り曲げて使用して良い。
ただし、箱を完全には閉じず、中の内側の一部、もしくは全体が見える状態で固定すること。
4. 「A がプリントされた上質紙 (B4 版)」は、他のモチーフの下に敷いてセットすること。
5. モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
6. 配布された白の台紙は描かなくてもよい。
7. 配布した白いコピー用紙 (A3 版) は下描きに使ってもよい。
8. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
9. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



A



デザインプレゼンテーション（4時間）

用紙：「B3 ケント紙1枚+PM パッド1枚」

画材：鉛筆および色鉛筆

〔課題〕

**私たちの身近にある公共空間^[1]と伝達^[2]にかかわる問題を見つけ出し、
あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。**

注釈

- [1] 公共とは、社会一般、「おおやけ」（広辞苑より）であり、公共空間とは、個人に属さないおおやけの空間（Wikipedia より）を意味する。したがって、公共施設、公共交通機関、公共建築など、不特定多数の人が利用する場を公共空間とする。
- [2] 伝達とは、命令・連絡事項などを伝えること。つぎつぎに伝え届けること（広辞苑より）。

公共空間と伝達との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。

例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。

〔条件〕

1. 答案用紙は2枚あり、PM パッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。
2. 表現方法は自由（筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。）
3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に回答が被らないようにすること。
4. 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。

以上